中山栄樹 副市長　就任のあいさつ

市長補佐役として 全力で 市民福祉の向上に取り組みます

12月28日の市議会第2回臨時会において、中山栄樹氏の副市長選任が全会一致で同意されました。任期は平成30年1月1日から4年間です。

中山栄樹氏（穂高柏原・65歳）は、昭和52年に旧穂高町に奉職、合併後は、安曇野市企画財政部長などを歴任。平成25年3月の定年退職後は、市社会福祉協議会の常務理事などを務められました。

就任にあたり、市民の皆さまへのごあいさつを掲載します。

◇

1月4日に辞令交付を受け、安曇野市副市長に就任いたしました。

大変光栄に存じますとともに、副市長という職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

市長の補佐役として、市民福祉の一層の向上、そして、未来の安曇野市がますます輝くまちとなるよう、全力で取り組む所存です。

市民の皆さまには、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

副市長　**中山 栄樹**

■選挙管理委員会・公平委員会ほか人事

任期満了に伴う選挙管理委員会と安曇野市等公平委員会の各委員が決まりました。任期は両委員とも平成29年12月22日から4年間です。

選挙管理委員
布山 弘

選挙管理委員
中村 守良

選挙管理委員会
委員長職務代理者
丸山 くみ子

選挙管理委員会
委員長
竹内 勲

公平委員会委員
宮井 麻由子

公平委員会
職務代理者
曽根原 幸人

公平委員会委員長
和田 博

人権擁護委員

任期満了に伴う人権擁護委員に布山茂正委員（三郷）・望月静美委員（明科）が委嘱されました。また、中澤みどり委員（穂高）が新たに委員に委嘱されました。任期は平成30年1月1日から3年間です。

■三郷交流学習センター「ゆりのき」が完成

三郷交流学習センター「ゆりのき」の建設工事が完了し、12月26日、施行業者から市に鍵が引き渡されました。

この施設は、図書館を中心とした文化複合施設で、展示ギャラリーやカフェコーナー、学習室を備えています。鉄骨平屋1846平方㍍で、総事業費は、備品や設計費などを含め、約12億円となりました。開館時の蔵書数は約4万1000冊で、徐々に増やす予定です。

三郷図書館の移転改築は、旧三郷村時代から計画されており、三郷地域の交流学習センターの完成により、5地域の文化拠点施設が整備されたことになります。

愛称となった「ゆりのき」は、公募により選定され、市の天然記念物に指定されている市役所三郷支所前のユリノキが由来となっています。

式典で宮澤市長は「市民の情報拠点として、生涯学習を支援する図書館として、多くの皆さんに使ってほしい」とあいさつしました。

開館は本年3月10日で、施設の利用案内などは、広報あづみの2月号に掲載する予定です。

完成した三郷交流学習センター「ゆりのき」

■地域課題の解決に向け 市まちづくり推進会議が発足

複雑、多様化する地域課題の解決に向けた検討を行う、市まちづくり推進会議（田村浩会長）の初会合が12月14日、市役所で開かれました。

同会議では、市区長会から、区だけでは解決できない課題として検討依頼のあった「全市的な見守り、支え合い、助け合いの仕組みづくり」「区の意義や重要性の理解促進」の2つの議題について、ワーキンググループを設け検討を重ねます。

会議では、市民の最も身近な地域コミュニティである区への加入率が伸び悩んでいる現状について話題になりました。委員からは「防災を切り口にすれば区への理解を深めてもらえるのではないか」など活発に意見が出されました。高齢で区の役員ができないため、区の退会を希望する高齢者が増えているという現状にも触れ、役員の免除や共助の仕組みについても考えが示されました。

同会議では、今後1年間程度議論を重ね、市への提言をまとめる予定です。

地域課題解決の依頼を受ける田村会長（写真左）